

ホソバオケラの無機成分吸収量

ホソバオケラの1株当たり部位別無機成分吸収量

	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO
	g/plant	g/plant	g/plant	g/plant	g/plant
地上部	1.07 ± 0.15	0.73 ± 0.21	0.84 ± 0.07	2.98 ± 0.48	0.22 ± 0.02
地下部	2.83 ± 0.35	1.61 ± 0.24	2.67 ± 0.39	1.87 ± 0.17	0.26 ± 0.02
合計	3.9	2.3	3.5	4.9	0.5

各個体ごとに部位別乾物重にそれぞれの含有率を掛けて求めた平均値と標準偏差。

平均乾物重は地上部：122.7±11.6、地下部：257.9±16.8。

定植3年目株を1987年10月19日に収穫。3年間の合計施用量（堆肥分は除く）はN：26.5kg/10a、P205:26.5kg/10a、K20：26.5kg/10a。

分析はSPAD SFP-2（富士平工業）による。

ホソバオケラの10a当たり3年間の無機成分吸収量

	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO
	kg	kg	kg	kg	kg
地上部	5.9 ± 0.83	4.1 ± 1.17	4.7 ± 0.39	16.6 ± 2.67	1.2 ± 0.11
地下部	15.7 ± 1.94	8.9 ± 1.33	14.8 ± 2.17	10.4 ± 0.94	1.4 ± 0.11
合計	21.7 ± 2.8	13.0 ± 2.5	19.5 ± 2.6	26.9 ± 3.6	2.7 ± 0.2

10a当たり5,555本（60cm×30cm）植栽として算出した。

本データに基づき、栽培地の土壌や、一般に知られている利用率（N:30~50%、P205：5~20%、K20：40~60%）を考慮して施用量を決定する。

（参考文献：久馬一剛ら，“土壌の辞典”，p408，朝倉書店（2000））